

世界銀行「ビジネス環境の現状」と世界経済フォーラム「世界競争力レポート」に見る
アゼルバイジャンのビジネス環境

1. アゼルバイジャンの世界ランキング

世界銀行が発行する「ビジネス環境の現状(Doing Business)」におけるアゼルバイジャンの順位は最新の 2020 年版では 190 カ国中 34 位 でした。一方、世界経済フォーラムが発表する「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」におけるアゼルバイジャンの順位は最新の 2019 年版では 141 カ国中 58 位 でした。

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
Doing Business	↘54	↘66	↘67	↘70	↘80	↗63	↘65	↗57	↗25	↘34
Global Competitiveness	↗55	↗46	↗39	↗38	↘40	↗37	↗35	↘69	↗58	

(矢印は順位の前年比)

2. 評価項目

「ビジネス環境の現状」では、事業の始めやすさ、建設許可、電力へのアクセス、不動産登記、資金調達、少数株主の保護、納税、海外貿易、契約執行、破綻処理の 10 の評価項目を数値化して総合点を算出しています。

「世界競争力レポート」では、2017 年までは制度、インフラ、マクロ経済環境、健康と初等教育、高等教育・職業訓練、物品市場の効率性、労働市場の効率性、金融市場の発展度合、技術面の素地、経済市場規模、ビジネスの洗練度、技術革新の 12 の評価項目が使用されていましたが、2018 年以降評価手法と評価項目が修正され、評価項目では以下の変更がありました。

変更があった評価項目

変更前	健康と初等教育	高等教育と訓練	技術面の素地	ビジネスの洗練度
変更後	健康	技術	ICT 浸透度	ビジネスのダイナミズム

3. アゼルバイジャンで評価が上がった項目・下がった項目

「ビジネス環境の現状」の各評価項目のデータ入手が可能だった 2015 年から 2019 年までの評価の変動をみると、5 年間で評価が特に改善した 3 項目は改善幅が大きい順に、資金調達、海外貿易、少数株主の保護です。一方、不動産登記、契約執行の 2 項目については 5 年間で評価が下がっています。

「世界競争力レポート」は、2018 年に評価手法と評価項目が変更され、2017 年以前と最新データを適切に比較することが不可能なため、分析可能な 2018 年から 2019 年にかけて見られた各評価項目の評価の変動を見ると、評価が特に改善した 3 項目は改善幅が大きい順に、マクロ経済環境、労働市場、インフラです。一方、評価が下がった項目は、健康でした。

(以上)